

(別紙 2)

2. 助成対象事業の遂行状況

【事業名】 A 事業① アジア留学生ビジネス人材育成支援事業

＜人材育成事業＞

令和 4 年度実施分

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

当財団では、平成 24 年度からアジア留学生ビジネスネットワーク構築支援事業を 4 大学及び岡山経済同友会と連携を図り、ネットワーク構築を行ってきた。さらに、HP の作成、既卒県内就職留学生とのネットワーク構築により新たなコミュニティの形成を行うことで、外国人社員と企業との間に存在する、溝が埋まり、定着へとつなげる。また、岡山県が行う支援事業を活用することで就職活動に向けた、効果的な研修等を実施し、本事業で開催する「企業説明会」でグローバル化につながる人材の確保へつなげる。

【遂行状況〈実施事業の内容・進捗状況、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

・ビジネスマナー講習会

日 時 : 令和 4 年 7 月 14 日 (木) 12:10～13:40
場 所 : 岡山コンベンションセンター 3 F 301 会議室
講 師 : 岡山県立倉敷鷺羽高等学校 大池 淳一 氏
内 容 : インターンシップの実施に先駆け、日本でのビジネスマナーの基本、今後、オンラインでの就職活動に必要な機材をはじめ、効果的な自己表現の方法を説明。

参加留学生数 : 40 名

・インターンシップ受入面接会

日 時 : 令和 4 年 7 月 14 日 (木) 14:00～17:30
場 所 : 岡山コンベンションセンター 3 F コンベンションホール
参加留学生数 : 43 名
参加企業数 : 17 社
内 容 : 留学生と県内企業採用担当者での面談、企業や業務の説明を行い、留学生の企業理解と就職機運を高めた。
(総マッチング件数 : 111 件)

・インターンシップ

期 間 : 令和 4 年 8 月 8 日 (月)～令和 4 年 9 月 22 日 (木)
参加留学生数 : 28 名
参加企業数 : 15 社
内 容 : 実施日程は最短 1 日間、最長 11 日間
2 日程で実施する企業が 4 社あり、計 17 回のオンラインインターンシップを実施し、学生一人あたり最大 5 社のインターンシップに参加した。

・インターンシップ報告会

日 時 : 令和 4 年 9 月 29 日 (木) 13:00～16:00
場 所 : ピュアリティまきび 2 階 孔雀
内 容 : インターンシップに参加した目的や、インターンシップに参加したことで得た気づきや体験を通して学んだことなどを発表した。

参加留学生数 : 8 名
参加企業数 : 8 社

・晴れの国スカラシップ

＜面接選考会＞

日 時 : 令和4年10月5日(水) 13:00～17:00
場 所 : ピュアリティまきび 3階 橘
参加留学生数 : 21名
参加企業数 : 寄付申出企業6社
内 容 : スカラシップを希望する21名を対象に面接会を実施。冠付き奨学生6名を含む奨学生16名を選考。

＜交付式・交流会＞

日 時 : 令和4年11月7日(月) 13:00～16:00
場 所 : アークホテル岡山 3階 牡丹
参加留学生数 : 奨学生16名
参加企業数 : 冠企業6社
内 容 : 奨学生交付式及び交流会を実施し、各留学生の自己紹介をはじめ、留学生と企業との交流を図った。

＜企業説明会＞

日 時 : 令和5年3月9日(木) 13:00～17:00
場 所 : 岡山コンベンションセンター 3階 コンベンションホール
参加留学生数 : 37名
参加企業数 : 21社
内 容 : 留学生と県内企業採用担当者での面談を行い、企業や業務の説明を行い、留学生の企業理解と就職機運を高めた。
(総マッチング件数: 137件)

・少人数での個別企業訪問

訪 問 先 : 冠企業2社
訪 問 者 : 吉備国際大学の留学生1名(国籍:インドネシア)
環太平洋大学の留学生1名(国籍:ベトナム)
内 容 : 企業説明、企業との交流、作業現場等見学

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

令和4年度実施事業に参加した留学生のうち県内就職先を把握している実績数値

- ・県内企業内定者(令和3年度奨学生) 1名
大学名: 吉備国際大学
学 部: 社会科学部・経営社会学科
出身国: インドネシア
内定先: 県内製造業

- ・インターンシップ、個別企業訪問、企業説明会を通して、魅力ある地域の文化や技術、製品情報などを直接伝えることができ、情報発信源として期待。企業PR効果とともに、実際の企業視察により日本の企業についての正しい知識を得たうえで、就職へ向けた機運が高まり、就職率の向上、人手不足などの課題解決につながる。

【今後の進め方(波及効果を含めて)をどうするのか】

留学生とのネットワークを活用し、県内企業及び当事業のPRにつなげ、更なる効果を期待する。ネットワークについてはSNSなどを活用し、交流の促進につなげる。
また、本年度は文系学部に所属するベトナムをはじめ、アセアンからの留学生参加が多くあり、非製造業への就職意向が強い傾向にあった。県内企業と留学生双方のニーズが

マッチするよう、更なる周知に努め、県内企業への就職率及び定着率の向上を目指す。

【事業名】 A事業②「晴れの国おかやま生き活きプラン」 応援プロジェクト拡充版

＜販路開拓事業＞
令和4年度実施分

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、全国的に展示会・商談会の中止や開催手法の変更が相次ぎ、食品製造中小企業事業者においても、卸・小売の仕入担当者（バイヤー）などとの商談の機会が失われており、中小企業事業者は大きな打撃を受けている。

一方で外出自粛などによりECや通信販売による販売が増加しているなど、販売チャネルの多様化とともに新たな市場が拡大化してきているが、多くの中小企業事業者においては対応ができていない。

当財団においては、これまでも商談会、大型見本市（関西圏）出展と販路開拓の機会や商品のブラッシュアップを支援してきた。しかし、多くの中小企業事業者においてはプロダクトアウト志向に基づく商品開発、包材などの検討が行われており、顧客のニーズを踏まえたマーケットイン志向での商品開発・改良は不十分なものとなっており、市場の声を踏まえた商品開発・改良を支援していくことが必要である。

Withコロナ、Afterコロナにおいても継続した販路開拓の機会の創出として、オンライン・対面のハイブリット商談会、大型見本市出展、専門家による支援の実施。また、これらのデータ収集・活用した支援（DX）から市場ニーズへの対応を目指す。

【遂行状況〈実施事業の内容・進捗状況、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

1 フードマッチングフェア

日 時 : 令和4年4月～令和5年3月

実施方法 : 参加セラーの商材・企業情報を掲載したオンライン展示サイトの公開

参加者数 : 83者（令和3年度_46者（1者退会）、令和4年度_37者）

内 容 : バイヤー向けのオンライン展示サイトを改修し通年商品展示サイトとして公開。

2 第1回勉強会（コラボ商品創成支援）

日 時 : 令和4年6月22日（水）、23日（木）

実施内容 : 令和3年度に実施したコラボ企画の進捗確認

コラボ事業者：3組

3 フードストアソリューションズフェア

日 時 : 令和4年9月7日（水） ～ 9月8日（木）

出展者数 : 事業者 20者

内 容 : 大型展示会への出展

商談件数 : 676件

商談成立	7
成立見込み	21
見積依頼	77
継続交渉	192
名刺交換	243
サンプル提供	67
商品説明のみ	69

4 第1回商談会

日 時 : 令和4年9月21日(水) 9:30 ~ 16:30
 会 場 : テクノサポート岡山 研修室
 バイヤー : 1 者
 参加者数 : 14 者
 商談件数 : 14 件

商談成立	1
商談成立見込み	0
継続交渉 (見積依頼・サンプル提供等)	11
なし	2
その他	0

5 第2回商談会

日 時 : 令和4年11月7日(月) ~ 12月16日(金)
 内 容 : オンライン(ZOOM)を利用した商談会
 参加バイヤー: 13 者
 参加者数 : 31 者
 商談件数 : 62 件

商談成立	10
継続交渉 (見積依頼・サンプル提供等)	47
なし	5
その他	0

6 第2回勉強会

日 時 : 令和4年11月8日(火) 10:00~12:00
 実施方法 : オンライン(ZOOM)を利用して実施
 講 師 : バイヤー 1 名
 参加者数 : 18 者
 内 容 : 販路開拓について

7 第3回相談会(商談会)

日 時 : 令和4年11月21日(月)、22日(火) 9:00~17:00
 会 場 : テクノサポート岡山 円卓会議室
 バイヤー : 1 者
 参加者数 : 14 者
 内 容 : 販路開拓に向けての商品評価や商品アドバイス、商談

8 第3回勉強会

日 時 : 令和4年11月28日(月) 13:30~16:30
 会 場 : テクノサポート岡山 中会議室
 実施方法 : セミナー: ハイブリッド
 ワークショップ: リアル
 講 師 : バイヤー 1 名
 参加者数 : 20 者
 内 容 : 商談会の概要(事前準備、展示ブースでの商談方法)、模擬商談
 写 真 :



9 岡山県展示大商談会～魅力ある食と雑貨の祭典～

日 時 : 令和5年1月24日(火) 10:00～17:00
 会 場 : コンベックス岡山 大展示場(岡山市北区大内田675)
 同時開催 : フードマッチングフェア
 第10回 地方創生「トマトアグリフードフェア2023」
 出展者数 : 109者
 内 容 : 展示会・個別商談会・個別評価・商品コンテスト・商品販売
 来場者数 : 1,224名
 商談件数 : 457件

商談成立	25
成立見込み	63
継続交渉 (見積依頼・サンプル提供等)	271
なし	65
その他	33

商品コンテスト: 56者

商品販売 : 43者

写 真 :



10 第4回勉強会

(1) セミナー

日 時 : 令和5年3月3日(金) 14:00～16:00
 実施方法: オンライン
 講 師 : バイヤー 1名
 内 容 : コラボ商品への取り組み方について
 参加者数: 16者

(2) アンケート及び専門家支援(ヒアリング)

日 時 : 令和5年3月13日(月)～15日(水)
 実施方法: オンライン&リアル
 会 場 : テクノサポート岡山 研修室1
 アドバイザー: バイヤー 1名
 内 容 : 令和3年度コラボ企業へ進捗確認

コラボ商品に興味があるかなどアンケート
アンケート結果をもとにコラボ企業を選定し、ヒアリング
アンケート回収：28者

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

目標値	結果	検証等
オンライン展示会出展者数： 21者	37者	県内展示大商談会に出展したい事業者が多かったため目標値を上回った。
見本市出展者出展者数： 10者	20者	コロナも落ち着き、展示会への意欲が高まったことから、多くの事業者が販路開拓へ向けて動いていることが分かった。
展示商談会出展者数： 100者	109者	県内での大きな展示商談会の開催が初めてであり、普段県外まで行くのが難しいような事業者が県内だと参加しやすかったように見えた。
商談成立件数： 45件	43件	目標達成には、わずかに足りなかったが、継続の案件が多くあるため、引き続きフォローしていく。
支援に対する満足度： 「満足」「概ね満足」90%超	90.3%	本事業に満足いただけている。引き続き満足度を維持し支援を続ける。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

構築したオンライン展示会Webサイトを活用したオンライン展示を基盤とした商談機会の提供、大型見本市への出展及び県内での展示商談会を開催することで、継続した販路開拓の機会を創出する。

また、首都圏を目指す事業者の商品PRの場を提供するとともに、来場者からのニーズ調査も行い今後の新商品開発・販路開拓に役立ててもらう。

(別紙2)

2. 助成対象事業の成果（結果） 令和5年度実施分

【事業名】A事業① アジア留学生ビジネス人材育成支援事業

＜人材育成事業＞

令和5年度実施分

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

当財団では、平成24年度から、岡山経済同友会と連携して「アジア留学生ビジネスネットワーク構築支援事業」をスタート。当初は県内4大学との連携であったが、現在は8大学と連携し、インターンシップやスカラシップ（奨学金給付）、合同説明会等を行うことで、外国人材の国内就職・県内就職を図ってきた。

これに加えて、留学生（既卒留学生を含む）同士の交流等によるネットワーク構築を支援することで、新たなコミュニティの形成を図る。さらには、外国人材と企業との間に存在する「溝」を埋めることで、より一層の定着へとつなげることを目的とする。

また、岡山県が行う支援事業を有効活用することで、就職活動に向けた効果的な研修等を行い、本事業で開催する「企業説明会」でグローバル化につながる人材の確保へとつなげる。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

■ビジネスマナー講習会

日 時 : 令和5年7月18日(火) 12:00～13:40
 場 所 : 岡山コンベンションセンター 3F 302会議室
 講 師 : 学校法人金沢学院大学・金沢学院短期大学 大池 淳一 氏
 参加留学生数 : 22名
 内 容 : インターンシップの実施に先駆け、日本での
 ビジネスマナー等に関する研修を実施。また、今後の就職活動において必要な、オンライン面接についても、必要機材をはじめ、自己表現の効果的な方法を説明した。



■インターンシップについて

<受入面接会>

日 時 : 令和5年7月18日(火) 14:00～17:30
 場 所 : 岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール
 参加留学生数 : 24名
 参加企業数 : 13社
 内 容 : インターンシップを希望する企業及び留学生が
 面談を行い、企業概要やインターンシップ内容の説明を行った。相互理解を深め、留学生の企業理解と就職機運を高めた。
 (総マッチング件数: 76件)

<インターンシップの実施>

期 間 : 令和5年8月6日(日)～令和5年9月29日(金)
 参加留学生数 : 20名
 参加企業数 : 11社
 内 容 : 最短1日間、最長10日間のインターンシップを実施。企業への理解を深めるとともに、社会人としての基礎や仕事とは何かを学んだ。

<インターンシップ実施報告(動画)>

内 容 : 例年、リアル開催でインターンシップ報告会を実施していたが、本事業の認知度向上を目的に、アーカイブ配信で実施。留学生がインターンシップで得た気づきや学びについての報告をオンラインで録画。その動画を企業や大学・留学生へ期限付きで公開し、関係者が視聴し、今後のインターンシップ受け入れの参考とした。
<https://www.youtube.com/watch?v=VSjPltR3S1E>
<https://www.youtube.com/watch?v=8HKq54iRGxQ>

■晴れの国スカラシップ(奨学金)

<面接選考会>

日 時 : 令和5年10月11日(水) 13:00～17:00
 場 所 : ピュアリティまきび 3階 飛翔
 参加留学生数 : 20名
 参加企業数 : 寄付申出企業5社
 内 容 : スカラシップを希望する留学生35名の応募のうち、書類選考を通過した20名を面接選考。15名を採択した。

<交付式・交流会>

日 時 : 令和5年11月15日(水) 9:30～12:30
 場 所 : アークホテル岡山 3階 牡丹
 参加留学生数 : 奨学生15名
 参加企業数 : 冠企業5社

内 容 : 奨学生への交付式及び企業との交流会を実施。採択された奨学生15名に対し、給付企業から目録の贈呈を行った。また、給付企業5社へ感謝状の贈呈を実施。交流会では奨学生が自己紹介を含む発表を行った。

<冠企業への訪問>

日 時 : 令和6年1月16日(火) 17日(水) 22日(月) 30日(火)
参加留学生数 : 奨学生8名
訪問企業数 : 冠企業4社
内 容 : スカラシップ寄付企業4社へスカラシップ生と訪問し、企業概要や採択者へ期待することなどの説明を受けるとともに、実際の職場を見学し、県内企業への理解を深めた。

■企業説明会 ※令和6年3月実施のため対象経費外

日 時 : 令和6年3月12日(火) 13:00~17:00 ※予定
場 所 : 岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール
参加留学生数 : 23名(2月15日時点)
参加企業数 : 35社(2月15日時点)
内 容 : 留学生と県内企業採用担当者での面談を行い、企業概要や業務の説明を行い、留学生の企業理解と就職機運を高める。

■県内企業PRを目的としたバスツアー ※他の委託事業を活用

日 時 : 令和5年11月8日(水) 11:30~15:45
場 所 : コンベックス岡山
参加留学生数 : 21名
参加企業数 : 3社
内 容 : 留学生を県内大規模展示会に同行(バスを手配)。留学生は、県内企業の企業研究を図ると同時に、企業は展示物等を利用しながら企業PRを行った。企業理解及び就職機運を高めた。

■ホームページの改修

実施する事業内容やスカラシップ給付企業の情報を更新し、事業の周知を図った。また、県内企業におけるインターンシップの重要性や意識を高めることを目的に、インターンシップ報告動画を掲載した。(再掲)

https://www.optic.or.jp/enterprise_detail/index/7.html

■既卒留学生とのネットワーク構築

上記記載のバスツアーを活用した。展示会には200社以上の企業が出展しており、その中には外国人材を配置している企業も有る。そのようなブースを訪問することで、留学生との交流を図った。

■留学生向け研修 ※他の委託事業を活用

令和5年4月入社の新入社員を対象としたビジネスマナー研修に外国人材が参加。また、通年で64コース実施している人材育成研修のうち、7コースに外国人材が参加し、スキルアップを図った。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

■事業実績

<インターンシップ>

当初事業計画では、令和3年度と比較して「参加企業数5%アップ」「参加留学生数10%アップ」を掲げていた。

・参加企業数: R3(オンライン実施)・・・13社
R4・・・・・・・・・・17社(令和3年度対比131%)

- R 5 1 3 社 (令和 3 年度対比 1 0 0 %)
- ・参加留学生数 : R 3 (オンライン実施) . . . 5 6 名
- R 4 4 3 名 (令和 3 年度対比 7 7 %)
- R 5 2 4 名 (令和 3 年度対比 4 3 %)

<企業説明会>

当初事業計画では、令和 3 年度と比較して「参加企業数 5 %アップ」「参加留学生数 1 0 %アップ」を掲げていた。

- ・参加企業数 : R 3 2 4 社
- R 4 2 1 社 (令和 3 年度対比 8 8 %)
- R 5 (予定) . . . 3 5 社 (令和 3 年度対比 1 4 6 %)
- ・参加留学生数 : R 3 3 2 名
- R 4 3 7 名 (令和 3 年度対比 1 1 6 %)
- R 5 (予定) . . . 2 3 名 (令和 3 年度対比 7 2 %)

<実施事業参加留学生のうち県内就職先を把握している人数>

当初事業計画では、令和 3 年度と比較して「県内就職率 5 %アップ」を掲げていた。

- ・人 数 : R 3 6 名
- R 4 3 名 (令和 3 年度対比 5 0 %)
- R 5 2 名 (令和 3 年度対比 3 3 %)

■事業実績への検証

事業への参加企業数に大きな変動は無いが、留学生の参加人数が減少している。2 0 1 9 年度まで増加傾向にあった外国人留学生数が、新型コロナウイルス感染症の拡大による入国制限等の影響を受けたことが要因となり、現在まで減少の一途をたどっている。入国制限解除後、留学生数がコロナ禍前の状態に戻るまでには数年かかると思われるが、参加企業数は増加傾向にあるため、引き続き本事業を継続し、企業と留学生との接点を増やしていきたい。

■総括

事業を通じ、岡山の魅力ある企業と留学生との接点を幾度も設けることで、留学生の県内企業への定着率・就職率の増加を図った。併せて、インターンシップや企業訪問等により、県内企業の認知度向上を図るとともに、日本の就職に関する正しい知識を得てもらうことで、外国人材と企業とのギャップを縮小させることができた。

県事業と連携を図ることにより、留学生や県内企業に対して質の高い事業の提供及び経費削減に繋がり、効率的に本事業の目的を遂行した。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

国内の労働人口減少が見込まれる中、外国人材の県内定着は必要不可欠である。本事業で得たノウハウを活かしながら、質の高い事業を行うことで、県内企業への就職率及び定着率の向上を目指す。また、本事業のアンケートや追跡調査等から、留学生の現状や動向を分析し、事業内容のブラッシュアップを続けることに加えて、これまで構築してきた企業や留学生・大学とのネットワークを活用し、留学生の県内就職率の向上及び企業の人手不足などの課題解決に繋げていくことを目指す。

【事業名】A事業②「晴れの国おかやま生き生きプラン」応援プロジェクト拡充版

<販路開拓事業>

令和 5 年度実施分

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

新型コロナウイルス感染症も令和5年5月に「5類感染症」に移行し、展示会・商談会開催もコロナ前に戻りつつある中で、物価やエネルギー価格高騰により中小企業事業者はまだ苦しい状況が続いている。

当財団においては、これまでも商談会の開催、大型見本市（関西圏）出展等による販路開拓の機会や商品のブラッシュアップを支援してきた。しかし、多くの中小企業において商品開発、包材などの検討は、プロダクトアウト発想で行われており、顧客のニーズを踏まえたマーケットインの視点が不足しているため、市場の声を踏まえた商品開発・改良を支援していくことが必要である。

Withコロナ、Afterコロナにおいても継続した販路開拓の機会を創出するため、県内外の展示会への出展、ハイブリットでの商談会及び個々の課題に対応する専門家の支援を実施し、これらの支援で得られたデータを収集・活用（DX）して支援先へフィードバックするなど市場ニーズへの対応を促した。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

1 フードマッチングフェア

日 時：令和5年4月～令和6年2月

実施方法：参加セラーの商材・企業情報を掲載したオンライン展示サイトの公開

参加者数：115者（令和3年度_46者（1者退会）、
令和4年度_37者、
令和5年度_32者）

内 容：バイヤー向けのオンライン展示サイトを改修し通年商品展示サイトとして公開

2 テストマーケティング

展示期間：令和5年8月1日（火）～令和5年8月29日（火）

展示場所：「AZLM TOBU 池袋店」（東京都豊島区）

出 展 者：12者

＜アンケート実施＞

期 間：令和5年8月18日（金）13時～20時
令和5年8月19日（土）10時～17時

回答総件数：248件

結果：別紙のとおり

3 フードストアソリューションズフェア2023

日 時：令和5年9月6日（水）～9月7日（木）

場 所：インテックス大阪 4号館・5号館（大阪市）

出展者数：20者

内 容：大型展示会への出展

商談件数（直後）：605件

商談成立	7
成立見込み	3
継続交渉（見積依頼・サンプル提供等）	125
その他（今後につながる可能性あり）	130
なし（名刺交換等）	340

商談件数（4か月後）：148件

商談成立	25	5,424,300円
成立見込み	11	—
継続交渉（見積依頼・サンプル提供等）	53	—

その他（今後につながる可能性あり）	59	—
-------------------	----	---

支援に対する満足度：90%

写真：



4 第1回商談会

【備前地域】

日時：令和5年7月5日（水）13:00～17:00

会場：テクノサポート岡山 研修室1（岡山市）

参加バイヤー：2者

参加者数：9者

商談件数（直後）：15件

商談成立	0
商談成立見込み	4
継続交渉（見積依頼・サンプル提供等）	9
その他（今後につながる可能性あり）	2
なし	0

商談件数（6か月後）：8件

商談成立	0	0円
商談成立見込み	1	—
継続交渉（見積依頼・サンプル提供等）	3	—
その他（今後につながる可能性あり）	4	—

【美作地域】

日時：令和5年7月6日（木）13:00～17:00

会場：岡山県美作県民局 会議室（津山市）

参加バイヤー：2者

参加者数：4者

商談件数（直後）：7件

商談成立	1
商談成立見込み	3
継続交渉（見積依頼・サンプル提供等）	3
その他（今後につながる可能性あり）	0
なし	0

商談件数（6か月後）：3件

商談成立	1	50,000円
商談成立見込み	0	—
継続交渉（見積依頼・サンプル提供等）	2	—
その他（今後につながる可能性あり）	0	—

【備中地域】

日 時 : 令和5年7月7日(金) 13:00～17:00
会 場 : 岡山県備中県民局 会議室 (倉敷市)
参加バイヤー : 有限会社アイ・ビー・エス
株式会社ビー・ワイ・オー
参加者数 : 8者
商談件数(直後) : 12件

商談成立	4
商談成立見込み	1
継続交渉(見積依頼・サンプル提供等)	3
その他(今後につながる可能性あり)	4
なし	0

商談件数(6か月後) : 6件

商談成立	2	444,589円
商談成立見込み	0	—
継続交渉(見積依頼・サンプル提供等)	2	—
その他(今後につながる可能性あり)	2	—

支援に対する満足度 : 80.1%

5 第2回商談会

日 時 : 令和5年10月25日(水) 11:00～16:20
会 場 : 岡山コンベンションセンター 会議室 406 (岡山市)
参加バイヤー : 3者
参加者数 : 10者
商談件数(直後) : 17件

商談成立	2
商談成立見込み	4
継続交渉(見積依頼・サンプル提供等)	10
その他(今後につながる可能性あり)	1
なし	0

商談件数(3か月後) : 8件

商談成立	2	173,600円
商談成立見込み	3	—
継続交渉(見積依頼・サンプル提供等)	3	—
その他(今後につながる可能性あり)	0	—

支援に対する満足度 : 90%

6 第3回商談会

日 時 : 令和6年1月15日(月)～1月29日(月)
内 容 : オンライン(ZOOM)を利用した商談会
参加バイヤー : 17者
参加者数 : 58者
商談件数(直後) : 91件

商談成立	10
商談成立見込み	19
継続交渉(見積依頼・サンプル提供等)	49

その他（今後につながる可能性あり）	12
なし	1

支援に対する満足度：79.3%

7 勉強会（展示会出展の事前研修）

日時：令和5年10月13日（月）13:30～16:30

- ・セミナー：13:30～15:00
- ・ワークショップ：15:00～16:30

実施方法：セミナー：ハイブリッド
ワークショップ：リアル

会場：テクノサポート岡山 大会議室（岡山市）

参加者数：セミナー 25者29名（内リアル10名、オンライン19名）
ワークショップ 2者3名

内容：セミナー

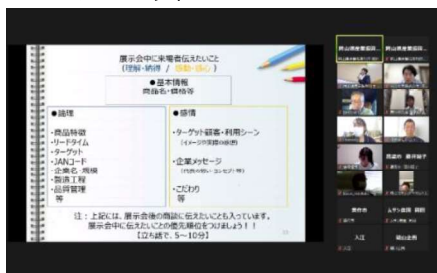
- ・展示商談会の概要
- ・展示会・商談会にて準備すること
- ・展示ブース及び商談会場での商談方法

ワークショップ

- ・模擬商談

支援に対する満足度：92%

写真：



8 岡山県展示大商談会～魅力ある食の祭典～

日時：令和5年11月21日（火）10:00～17:00

会場：コンベックス岡山 大展示場（岡山市）

同時開催：フードマッチングフェア2023

第11回地方創生トマトアグリフードフェア

出展者数：事業者 120者（内2者欠席）

内容：展示会・個別商談会・個別評価・商品コンテスト・商品販売

来場者数：1,064名

商談件数（直後）：588件

商談成立	31
成立見込み	63
継続交渉（見積依頼・サンプル提供等）	256
その他（今後につながる可能性あり）	179
なし	59

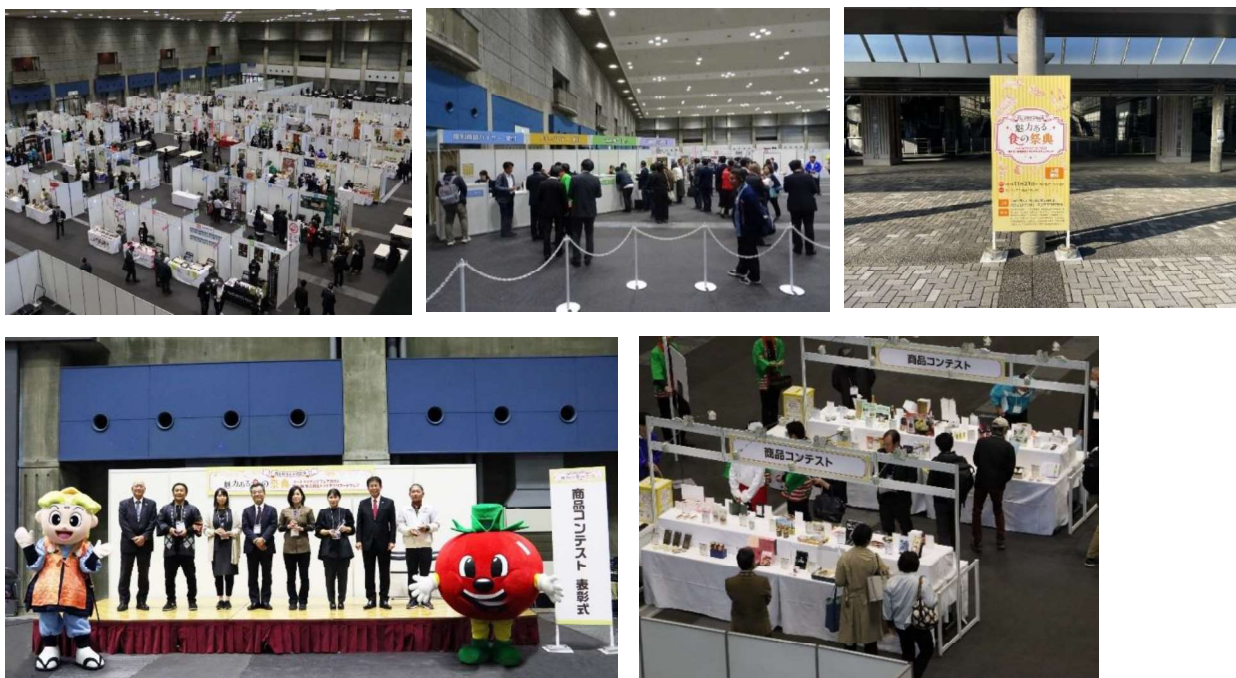
商品コンテスト参加事業者：63者

商品販売：74者

試飲試食：97者

支援に対する満足度：84.3%

写真：



【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

目標値	結果	検証等
オンライン展示会出展者数： 21者	32者	前年度同様、県内展示大商談会に出展したい事業者（新規）が多かったため目標値を上回った。
見本市出展者数： 10者	20者	新型コロナウイルスが5月から5類感染症へ移行したことから、リアル展示会への意欲が高まっている。新規出展の企業も多く、新たな販路開拓へ向けて動いている。また、継続して出展したい企業も多くいることから、県外販路開拓支援は必要であることが分かった。
展示商談会出展者数： 100者	120者	前年度から継続して実施した展示大商談会だが、小規模な事業者や6次化事業者にとっては、新規商品をPRする場及び販路を広げて行く手段として活用していただくのに非常に有効な支援に感じた。また、県内外からお越しいただいたバイヤーと、事前マッチングでの商談やブースでの商談ができ、一度に多くのバイヤーと話すことができ、アドバイス等もいただけるのはメリットであると感じた。
商談成立件数： 45件	72件 (事後調査済はその件数)	目標を大幅に上回る件数を達成することができた。 要因としては、フードストアソリューションズフェア2023の事後調査で成立していた事業者が多かったのと、展示大商談会でフリー参加のバイヤーとしっかり商談が出来ていたこと。

支援に対する満足度： 「満足」「概ね満足」90%超	86.0%	満足度は目標値に達することができなかった。 要因としては、オンライン商談で不満はなかったものの、「普通」との回答が多かった。ネット販売を求めるバイヤーが多く参加しており、通常の小売販売とは求める商材が異なるため、合致する事業者としない事業者がはっきり分かれた。
--------------------------------------	--------------	---

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

インバウンド需要の拡大や環境配慮型の商品など変化する市場ニーズへ対応するため、継続的な支援として行ってきた専門家によるアドバイスによる商品開発・改良支援、及びオンライン及び対面による商談会の開催、展示商談会の開催、大型見本市への出展、テストマーケティングによる販路拡大支援を実施する。

これらの取り組みを通じて、消費者ニーズに合致する地域産品の創出及び需要の拡大を推進し、岡山県の地域ブランドの形成、及び地域活性化を図る。